

〔3〕子育て資源の活用

子育て資源を積極的に活用する女性ほど、ジェンダー・フリー度が高い

問 17-2 は「小学校入学前の子どもを誰が面倒見ていたか」についてたずねた。ジェンダー・フリー度の高低と比較したところ、女性の回答で統計的に有意な差が見られた。「近所」「ベビーシッター」と答えた人ではジェンダー・フリー度の高い人が多かった。また「保育園」「配偶者」「血縁」と答えた人も次に多かった。「私」「幼稚園」が面倒を見ていたと答えた女性では、ジェンダー・フリー度の高低にさほど差は見られなかった。

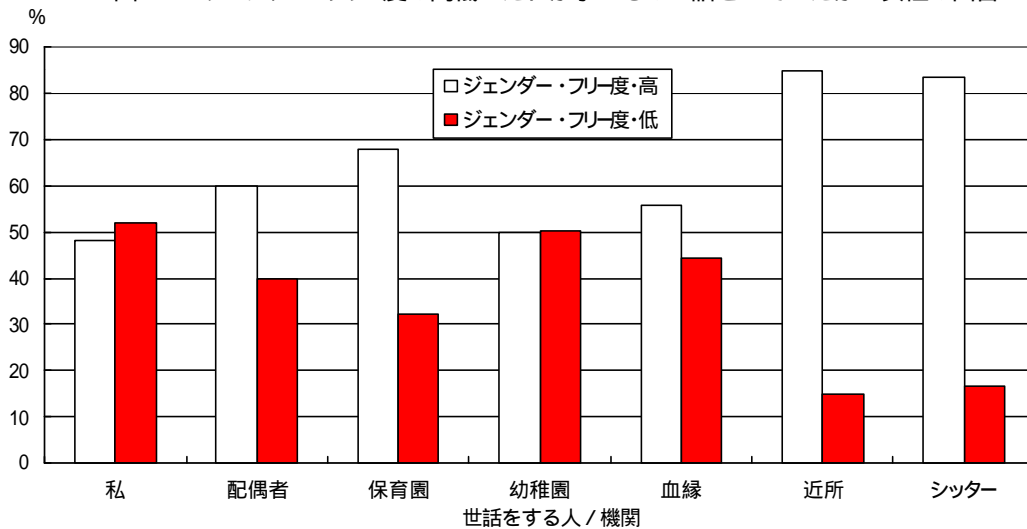
積極的に周囲に子育て支援の声をかけ、子どもを預けている女性は、ジェンダー・フリー度が高かった。

表32 ジェンダー・フリー度の高低と「小学校以前の子どもを誰が面倒見ていたか」/女性の回答

| | 合計 | 私 | 配偶者 | 保育園 | 幼稚園 | 血縁 | 近所 | シッター |
|--------------|------|------|-----|------|------|------|-----|------|
| 合計 | 462 | 168 | 10 | 53 | 187 | 18 | 20 | 6 |
| | 100 | 36.4 | 2.2 | 11.5 | 40.5 | 3.9 | 4.3 | 1.3 |
| ジェンダー・フリー度 高 | 248 | 81 | 6 | 36 | 93 | 10 | 17 | 5 |
| | 53.7 | 48.2 | 60 | 67.9 | 49.7 | 55.6 | 85 | 83.3 |
| ジェンダー・フリー度 低 | 214 | 87 | 4 | 17 | 94 | 8 | 3 | 1 |
| | 46.3 | 51.8 | 40 | 32.1 | 50.3 | 44.4 | 15 | 16.7 |

2=17.7 p<.01
上 実数
下 %

図32 ジェンダー・フリー度の高低とだれが子どもの世話をしていたか/女性の回答



〔４〕職業

「女性の一生の働き方について」「男は仕事、女は家庭」「現在の就労状況」「パート就労は労働条件が悪い」「家族経営協定」のそれぞれとジェンダー・フリー度の高低を比較した。

（１）女性の一生の働き方について

問９では女性が職業をもつことについての態度について、「その他」を除く回答を「仕事は一生持つべき」「出産後復帰」「出産時にやめるべき」「結婚時にやめるべき」「仕事は持たなくてよい」の５つのカテゴリーに分類した。

<女性が職業を持つ事の態度とジェンダー・フリー度の高低との比較>

「女性は仕事を一生持つべき」と答えた人で、ジェンダー・フリー度が高い

「女性は結婚時に仕事をやめるべき」「女性は出産後に仕事をやめるべき」と答えた人では、ジェンダー・フリー度が低い

「結婚時にやめるべき」「出産後にやめるべき」と答えた人ではジェンダー・フリー度の低い人が多かった。「出産後復帰」と答えた人ではジェンダー・フリー度の高い人、低い人が同じくらいだった。「仕事を一生持つべき」と答えた人では、ジェンダー・フリー度の高い人が多かった。

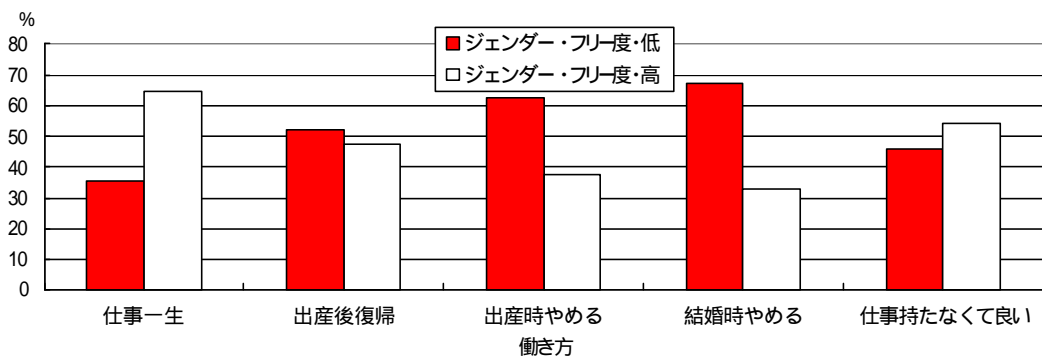
表33 女性の働き方に対する態度とジェンダー・フリー度の高低

| | 合計 | 仕事一生 | 出産後復帰 | 出産時やめる | 結婚時やめる | 仕事持たなくて良い |
|--------------|------|------|-------|--------|--------|-----------|
| 合計 | 958 | 306 | 526 | 56 | 46 | 24 |
| | 100 | 31.9 | 54.9 | 5.9 | 4.8 | 2.5 |
| ジェンダー・フリー度 高 | 498 | 198 | 251 | 21 | 15 | 13 |
| | 52.0 | 64.7 | 47.7 | 37.5 | 32.6 | 54.2 |
| ジェンダー・フリー度 低 | 460 | 108 | 275 | 35 | 31 | 11 |
| | 48.0 | 35.3 | 52.3 | 62.5 | 67.4 | 45.8 |

2=35.4 p<.01

上 実数
下 %

図33 ジェンダー・フリー度の高低と女性の働き方に対する態度



(2)「男は仕事、女は家庭」

問 10 では、固定的性役割観を端的に表わしたことは「男は仕事、女は家庭」に対する態度を聞いた。選択肢 4 つを 2 つのカテゴリーに再分類した。“同感する”“どちらかといえば同感する”を「ステレオ・タイプ肯定的」、 “同感しない” “どちらかといえば同感しない”を「ステレオ・タイプ否定的」とした。

「男は仕事、女は家庭」に否定的な人は、ジェンダー・フリー度が高い

ステレオ・タイプに否定的な人ではジェンダー・フリー度の高い人が多かった。一方ステレオ・タイプに肯定的な人は、ジェンダー・フリー度の低い人が多かった。

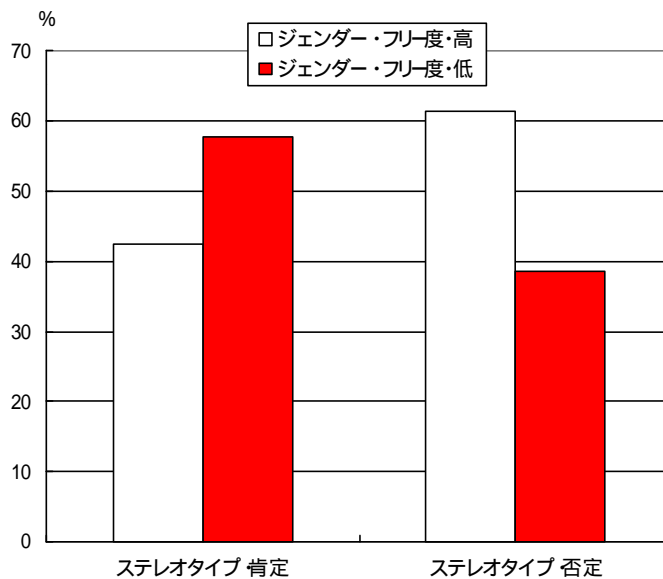
表34 「男は仕事、女は家庭」肯定 否定とジェンダー・フリー度の高低

| | 合計 | ジェンダー・フリー度 高 | ジェンダー・フリー度 低 |
|-------------|------|--------------|--------------|
| 合計 | 1049 | 558 | 491 |
| | 100 | 53.2 | 46.8 |
| ステレオタイプ・肯定的 | 451 | 191 | 260 |
| | 43.0 | 42.4 | 57.7 |
| ステレオタイプ・否定的 | 598 | 367 | 231 |
| | 57.0 | 61.4 | 38.6 |

2=19.8 p<.01

上 実数
下 :%

図34 「男は仕事、女は家庭」とジェンダー・フリー度の高低



(3) 現在の就労状況

収入を得る仕事をしている人は、ジェンダー・フリー度が高い

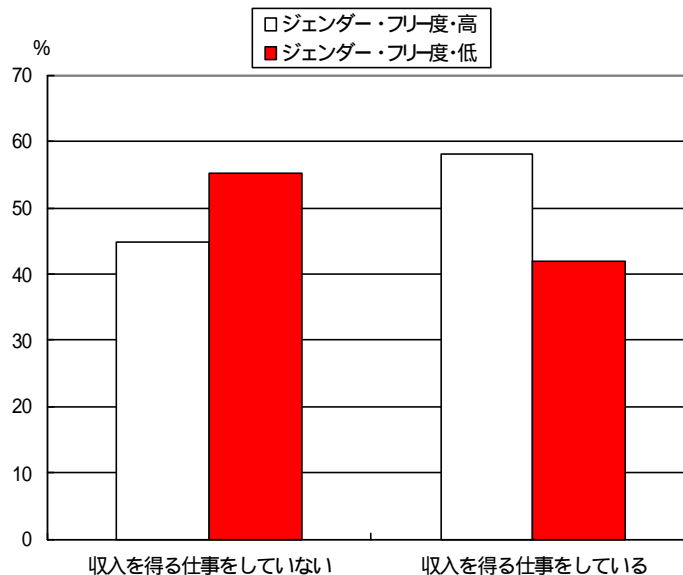
問 12 では「現在収入を得る仕事をしているかどうか」についてたずねた。収入を得る仕事をしていると答えた人では、ジェンダー・フリー度が高かった。一方収入を得る仕事をしていないと答えた人では、ジェンダー・フリー度が低かった。

表35 仕事の有無とジェンダー・フリー度の高低

| | 合計 | ジェンダー・フリー度 高 | ジェンダー・フリー度 低 |
|---------------|------|--------------|--------------|
| 合計 | 1010 | 541 | 469 |
| | 100 | 53.6 | 46.4 |
| 収入を得る仕事をしていない | 341 | 153 | 188 |
| | 33.8 | 44.9 | 55.1 |
| 収入を得る仕事をしている | 669 | 388 | 281 |
| | 66.2 | 58.0 | 42.0 |

2=15.6 p<.01
上:実数
下:%

図35 仕事の有無とジェンダー・フリー度の高低



フルタイム雇用者でジェンダー・フリー度が高い

問 13-2 では収入を得る仕事をしていると答えた人の1週間の平均労働時間をたずねた。ジェンダー・フリー度と比較したところ、男性で有意差が見られた。35時間未満までの人はジェンダー・フリー度が低かった。35-48時間の人はジェンダー・フリー度が際立って高かった。48時間以上の人でも、ジェンダー・フリー度の高い人が低い人より多かったが、その差は縮まった。

この結果から見ると、一見労働時間が短い人ほどジェンダー・フリー度が低いように思える。しかし男性の年代別平均労働時間の図からわかるように、平均労働時間が35時間未満の人の多くは60才代・70才代で占められていた。つまりジェンダー・フリー度と平均労働時間に直接関連があるのではなく、回答者の年代がジェンダー・フリー度に影響を与えていた。

表36 男性の勤務時間 / 週 とジェンダー・フリー度の高低 / 男性の回答

| | 合計 | 20時間未満 | 20 - 35時間 | 35 - 40時間 | 40 - 48時間 | 48時間以上 |
|--------------|-------|--------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 合計 | 393 | 22 | 17 | 34 | 144 | 176 |
| | 100.0 | 5.6 | 4.3 | 8.7 | 36.6 | 44.8 |
| ジェンダー・フリー度 高 | 222 | 8 | 5 | 21 | 91 | 97 |
| | 56.5 | 36.4 | 29.4 | 61.8 | 63.2 | 55.1 |
| ジェンダー・フリー度 低 | 171 | 14 | 12 | 13 | 53 | 79 |
| | 43.5 | 63.6 | 70.6 | 38.2 | 36.8 | 44.9 |

2=11.8

p<.05

上 実数
下 :%

図36 男性の勤務時間 / 週 と ジェンダー・フリー度の高低 / 男性の回答

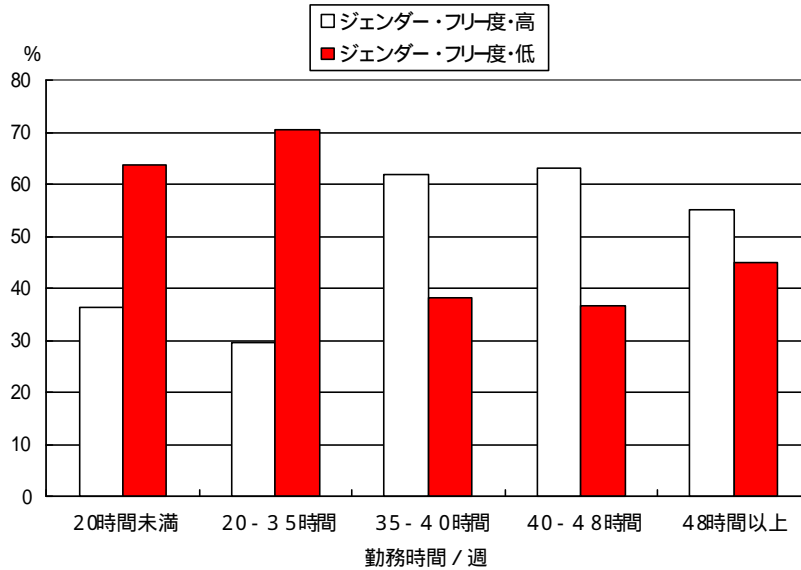


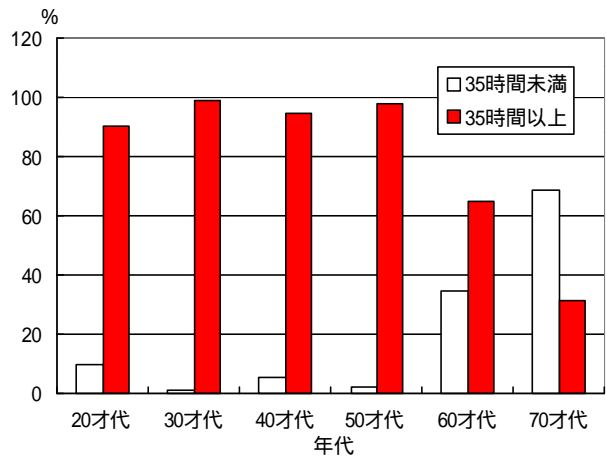
表37 (補足) 年代別 男性の勤務時間 / 週

| | 合計 | 35時間未満 | 35時間以上 |
|------|------|--------|--------|
| 合計 | 393 | 39 | 354 |
| | 100 | 9.92 | 90.1 |
| 20才代 | 31 | 3 | 28 |
| | 7.9 | 9.7 | 90.3 |
| 30才代 | 79 | 1 | 78 |
| | 20.1 | 1.3 | 98.7 |
| 40才代 | 129 | 7 | 122 |
| | 32.8 | 5.4 | 94.6 |
| 50才代 | 95 | 2 | 93 |
| | 24.2 | 2.1 | 97.9 |
| 60才代 | 43 | 15 | 28 |
| | 10.9 | 34.9 | 65.1 |
| 70才代 | 16 | 11 | 5 |
| | 4.1 | 68.8 | 31.3 |

2=107.9 p<.01

上 実数
下 :%

図37 年代別 男性の平均労働時間 / 週



(4) パート就労は労働条件が悪い

問11では、パートタイム就労についての意見を求めた。回答方法が多肢選択（あてはまるものにいくつでも をする）であったので、まずコレスポネンズ分析を行なった。すると、12（その他）を除いた1,4,5,6,10と2,3,7,8,9,11は、同じパートタイム就労に対する態度でも異なった二つのものを測っている事がわかった。設問の内容から1,4,5,6,10を「パートタイム就労は楽に働ける」、2,3,7,8,9,11を「パートタイム就労は労働条件が悪い」という態度を測っていると解釈した。

| | |
|---------|--|
| 楽に働ける | 家事に支障のない範囲で働ける 配偶者の扶養家族でいられる 責任が軽いから楽である 休みがとりやすく仕事以外の活動もできる 友だちができる |
| 労働条件が悪い | 雇用が不安である 賃金が低い パートでも仕事の責任は軽くない 非課税限度額が103万円では低すぎる 福利厚生等正社員と扱いが違いすぎる 能力が発揮しにくく、働き甲斐がない |

次にこの二つのパートタイム就労に対する態度と、ジェンダー・フリー度の関係を見た。すると、「パートタイム就労は楽に働ける」では統計的に意味のある差はなかった。

「パートタイム就労は労働条件が悪い」と思う人はジェンダー・フリー度が高い

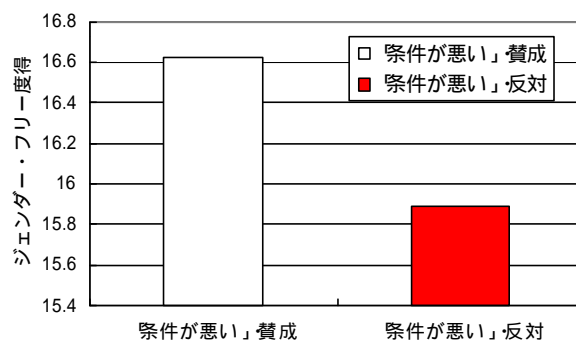
一方「パートタイム就労は労働条件が悪い」をジェンダー・フリー度と比較した。「パートタイム就労は労働条件が悪い」に肯定的な人はジェンダー・フリー度の高い人が多く、また否定的な人はジェンダー・フリー度の低い人が多かった。

表38 「パートタイムは労働条件が悪い」とジェンダー・フリー度の高低

| | ジェンダー・フリー度得点の平均値 |
|------------|------------------|
| 労働条件が悪い」賛成 | 16.62 |
| 労働条件が悪い」反対 | 15.89 |

F=5.23 p<.05 上 実数

図38 「パートタイムは労働条件が悪い」とジェンダー・フリー度の高低



(5) 家族経営協定

家族経営協定とは、農業・自営業に従事する家族の就労条件を契約として明文化し、特に女性の労働条件と正当な報酬を確保しようとするものである。この家族経営協定の考え方はまだまだ新しく認知度は非常に低い。

問 16-1 ではこの家族経営協定に対する態度を聞いた。その結果とジェンダー・フリー度を比較すると、女性で統計的に意味のある差が見られた。家族経営協定に肯定的な人では、ジェンダー・フリー度の高い人、低い人の数は同数であった。一方家族経営協定に否定的な人では、ジェンダー・フリー度の高い人が多かった。

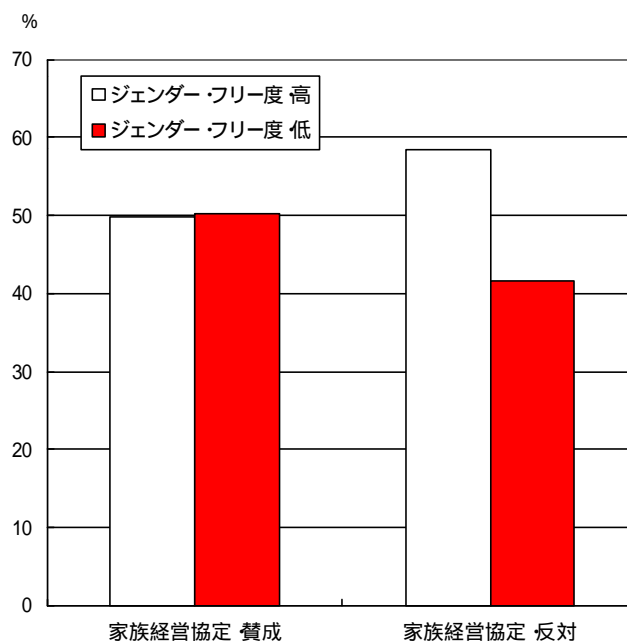
表39 家族経営協定に対する態度とジェンダー・フリー度の高低 / 女性の回答

| | 合計 | 家族経営協定 賛成 | 家族経営協定 反対 |
|--------------|------|-----------|-----------|
| 合計 | 582 | 337 | 245 |
| | 100 | 57.9 | 42.1 |
| ジェンダー・フリー度 高 | 311 | 168 | 143 |
| | 53.4 | 49.9 | 58.4 |
| ジェンダー・フリー度 低 | 271 | 169 | 102 |
| | 46 | 50 | 42 |

2=4.1 p<.05

上 実数
下 :%

図39 家族経営協定に対する態度とジェンダー・フリー度の高低 / 女性の回答



〔5〕男女共同参画社会に関する教育・啓発

(1) 三田市の女性施策

問 34 では三田市で行われている事業やことばについてたずねた。コレスポネンス分析を行ない、質問項目間の関連性を分析した結果、次の3つのカテゴリーに分類できた。それは、“三田市の事業(設問 1～12)” “法律(設問 13～16)” “先進的なことば(設問 17・19・21～23)” である。

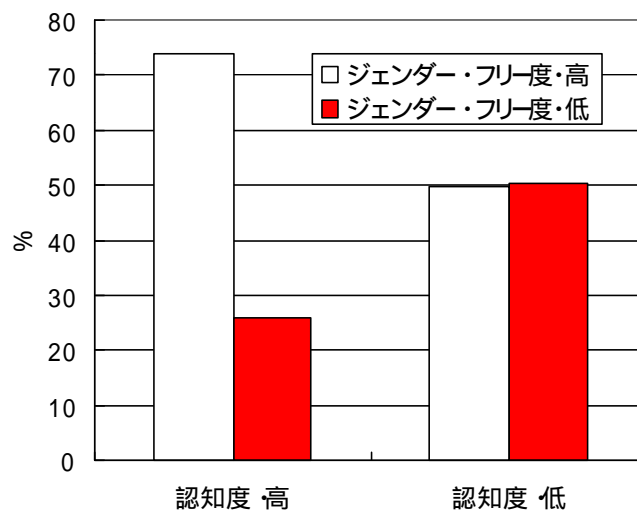
<「三田市の事業」「法律」「先進的なことば」の認知度の高低とジェンダー・フリー度の高低との比較>
「先進的なことば」の認知度の高い女性では、ジェンダー・フリー度の高い人の割合が圧倒的に多い

それぞれを比較したところ、「三田市の事業」「法律」に関しては有意な差は見られなかった。ジェンダー・フリー度の高低と「先進的なことば」の認知度の高低を比較したところ、女性の回答者で有意な差が見られた。「先進的なことば」の認知度の低い人では、ジェンダー・フリー度の高い人、低い人はほぼ同じくらいだった。しかし、「先進的なことば」の認知度の高い人では、ジェンダー・フリー度の高い人の割合が圧倒的に多かった。

表40 ジェンダー・フリー度の高低と「先進的なことば」の認知度 / 女性の回答

| | 合計 | 認知度・高 | 認知度・低 |
|--------------|-------|-------|-------|
| 合計 | 582 | 92 | 490 |
| | 100 | 15.8 | 84.2 |
| ジェンダー・フリー度・高 | 311 | 68 | 243 |
| | 53.4 | 73.9 | 49.6 |
| ジェンダー・フリー度・低 | 271 | 24 | 247 |
| | 46.56 | 26.1 | 50.4 |

図40 ジェンダー・フリー度の高低と「先進的なことば」の認知度 / 女性の回答



〔 6 〕 社会的信頼

社会的信頼の高いほど、ジェンダー・フリー度は高い

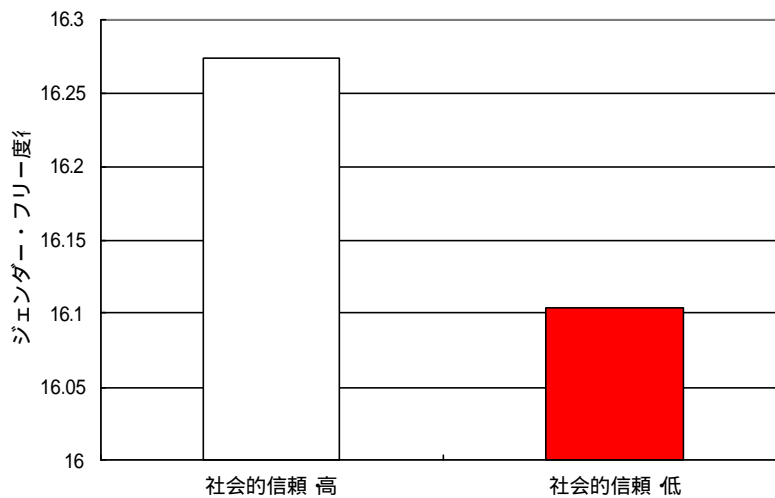
問 26 は人々の社会的信頼（何も知らない相手がどの程度信頼できる人間なのかについての予想）についてたずねた。その結果、社会的信頼が高いとジェンダー・フリー度は高くなり、社会的信頼が低いとジェンダー・フリー度は低くなることがわかった。

表41 社会的信頼とジェンダー・フリー度の高低

| | ジェンダー・フリー度得点の平均値 | 標準偏差 |
|---------|------------------|------|
| 社会的信頼・高 | 16.27 | 4.56 |
| 社会的信頼・低 | 16.10 | 5.24 |

F=5.23 p<.05

図41 社会的信頼とジェンダー・フリー度の高低



一見すると、社会的信頼度の高い人は、人の言葉を簡単に信用するお人好しであり、社会的信頼度の低い人は、まず他人を疑ってかかる、だまされにくい人間であるように思える。

しかしさまざまな実験から社会的信頼度の高い人は、他人の人間性の情報に敏感に反応して、他人のことがよくわかる対人的な感受性の高い人である事がわかっている（山岸俊男：信頼の構造 - ところと社会の進化ゲーム -、東京大学出版、1998）。

そのため社会的信頼度の高い人ほど、固定的性役割観などのステレオタイプにとらわれない。そのため社会的信頼度の高い人ほど、ジェンダー・フリー度が高くなったと考えられる。

〔 7 〕 市民性

市民意識の基本軸として「自律と連帯」がある。「自律」は、自らの行動を自分の手で律するか、外部の評価に基づくかの対立軸である。「連帯」の軸は、他者との協調や協働を通じて地域の問題を解決するか、それとも自分の利益の世界に閉じこもるかの対立軸である。問 27 では以下のような自律項目、連帯項目についてたずねた。

【自律項目】

- しあわせなことが立て続けに起こると、この幸運に酔ってはいけなないと心を引き締める
- たとえ欲しいものがあったても、他人からひんしゅくを買うような行いはつつしむ方だ
- 街を歩いていて不快な目にあったら、イライラせずに気持ちを抑えようとする方だ
- 自分の欲求をかなえるときも、バランス感覚が大切だ
- 身のまわりのことには、ある程度気を使う方だ

【連帯項目】

- 地域のみんなが困っていることがある時、みんなで考えることで解決の糸口が見えると思う
- 講演会や地域の集まりに参加したとき、話し手に耳を傾けるのが礼儀だと思う
- わたしは用事があれば、近所の人にも、自分からきっかけを作って話かける方だ
- わたしは、いつ親に見られても誇れる自分がある
- 自分の行いの結果、何かまずいことが起こったら、その責任は自分で負う方だ

回答方法は、多肢選択（あてはまるものにいくつでも ）であったので、まずコレスポンデンス分析を行ない、各項目間の関連性を調べた。その関連性により、各項目の重み付けを行ない、自律度、連帯度の合計得点を出し、これを回答者の市民性得点とした。

市民性が高いほどジェンダー・フリー度は高い

この市民性得点をジェンダー・フリー度得点と比較した。その結果、市民性が高いほどジェンダー・フリー度は高く、市民性が低いとジェンダー・フリー度は低かった。

表42 市民性とジェンダー・フリー度の高低

| | ジェンダー・フリー度得点の平均値 | 標準偏差 |
|-------|------------------|------|
| 市民性 高 | 16.22 | 4.8 |
| 市民性 低 | 16.17 | 4.96 |

F=0.30

図42 市民性とジェンダー・フリー度の高低

